

り、米沢警察署管内の青パト登録車両は588台、登録者は1200人超と、東北でトップを誇る。さらなる市民参加を募ろうと、寄贈を申し出た。

山田さんが同日、市役所を訪れ、若月会長と同協会顧問の中山勝市長に目録と青色回転灯を手渡した。山田さんは事故ゼロに向け、市民総参加の起爆剤になればうれしい」と話し、若月会長と中山市長は「安心・安全なまちづくりに向け、より一層力を入れて取り組む」などと応えた。

山の名前覚えて 小学校に絵贈る

日本山岳会支部

子どもたちに山に親しんでもらおうと、日本山岳会山形支部(支部長・野堀嘉裕山形大名督教授)は6日、金山町と町内3小学校に「学校から見える山」の絵を贈

障害者や車いす利用者のため
宮内小児童
駐車場にペイント
バリアフリー化へ

南陽

障害者や車いす利用者のため



「学校から見える山」の絵を受け取った子どもたち
＝金山町役場

「学校での勉強に役立てたい」と感謝を伝えた。「学校から見える山」事業は「山の日記」が施行された2016年に始まり、今年で3年目。

った。絵は酒田市のイラストレーター木山由紀子さんが担当した。贈られたのは町北側の山々を描いた鳥瞰(ちようかん)図と、東方向に見える神室連峰の展開図の2種類。同町は土地の70%が森林であり、山と密接な

関係にあることから対象に選ばれた。贈呈式が町役場で行われ、野堀支部長は「絵を見ながら山の名前を覚え、森林資源が立派な産業であることを学んでほしい」と話した。受け取った児童を代表して、明安小6年正野陽香さん(11)が



事業」の委託を受けて企画した。市内の小学校駐車場での取り組みは、おととし7月の赤湯小に続いて2カ所目。この日は校外のボランティアクラブ、サークルで活動している4～6年生計15人が参加した。

